

大分教育事務所訪問②-19 (計 92)

## 臼杵市立西中学校に学ぶ2

### 学校経営から学ぶ

本校の生徒と共に創る授業の実践は、今や臼杵市内だけでなく、管内の中学校においても中心的な役割を果たしています。特に全国や県の学力状況調査や「生徒と共に創る授業アンケート」の分析を細かく行うことで、教科部会だけに任せるのではなく、これから学年、学校で取り組むことを明確にしておき、実効的な検証・改善が行われています。さらに、地域や専門家との協働による「100年の森プロジェクト」にも計画的に取り組まれ、教科等で学んだことを実践的に活かしています。

今後は、学校として育成を目指す資質・能力である「課題解決能力」等について、協議を行い、本校として「定義」することで、最上位目標の共通理解が図ってみたいかがでしょうか。目標の共有ができれば、具体的な取組は担当者や生徒会にも任せることができ、多くの職員や生徒の当事者意識が高まると思われました。また、保護者や地域の方とも熟議等を行うことで、より協働的な取組が行われると思います。



NO.411 2021年10月 臼杵市立臼杵西学校

## 知識・技能

ネットで調べれば分かることではなく、それらの知識や経験をもとに自分の考えをもつ。



NO.410 2021年10月 臼杵市立臼杵西学校

## 対話力

笑顔で聞く→うなずく→共感する→質問する・・・共に相手軸で話し合うから対話は楽しい。



NO.409 2021年10月 臼杵市立臼杵西学校

## 課題解決力

それぞれの役割を決め、その役割の価値をみんなで共有し協働して行うから、課題解決ができる。



NO.408 2021年10月 臼杵市立臼杵西学校

## 認める力

「ちがい」は「まちがい」ではなく、その人「らしさ」。相手の意見を聴くことで、相手の良さがみえてくる。

### 授業から学ぶ

どの授業も、生徒が取り組みたくなるような課題が設定され、さらに、ペア学習等が効果的に行われていました。今後は、そのような生徒が活動する際の教師の立ち位置について、全体を俯瞰して見る場面を増やしてみたいかがでしょうか。そのことで、教師が指導したいことを、生徒の姿や頑張っている生徒たちから伝えることができるので、本校が目指す「授業の質を生徒が高める」ことにもつながると思われました。

また、指導案の「振り返り」については教師が願う具体的なゴールの姿を「生徒を主語」で表し、今後は互見授業等での「振り返り」と「ねらい」との連動や評価規準との整合性について協議することで、授業改善がより推進されると思われました。